

横浜市立桂台中学校

学校だより



令和8年度 NO.1 令和8年4月21日(火)発行

学校教育目標 『真剣』『夢と希望』『貢献』

校長 笹原 洋子

満開の桜の下、105名の新入生を迎え、全校生徒297名で新年度がスタートしました。保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。



今年度の始業式・入学式は新しい体育館で行いました。入口の壁面は旧体育館の床材を再利用し、モザイク模様のおしゃれな感じに仕上がっています。館中は明るくなり、冷暖房も完備されました。生徒たちは新しい体育館に負けない、やる気に満ちた明るい表情で、しっかりと話を聞いていました。

今年度の始業式では二、三年生に『心の花壇』の話をしました。「私たちの心の中ではたくさんの感情が芽生えます。やる気の種が芽吹くだけではなく、ややもすると不満の芽、怒りの芽、イライラの芽で自分の花壇がいっぱいになってしまうこともある。どんな花壇にするかを決めるのは自分。自分の心を見つめて、自分の思う通りの花壇を作りましょう。」と伝えました。

入学式で新入生には「中学校では目に見えないことを学びましょう。」と話しました。学習も抽象的なことを考える学習になりますし、人や自分の気持ちを考えることも、とても大切な学習なのです。

桂台中学校の学校教育目標は『真剣』『夢と希望』『貢献』です。様々な活動を行う中で、何事にも『真剣』に取り組みながら、みんなが気持ちよく過ごすためにはどうしたらよいかを工夫していきましょう。真剣になればなるほど、時には感情的になってしまうことがあります。そんな時に自分の気持ちを相手に伝えるコツを一つ紹介します。『Iメッセージ』^{あい}といいますが、主語を自分にして、「私は……と感じました。」という言い方で、相手に自分の思いを伝えてみましょう。この言い方の良いところは、相手を責めないで、自分の気持ちを伝えられるところです。それを聞いた人も「責められた」と受け取るのではなく、単純に「〇〇さんはそう感じたんだなあ。」と受け止め、それに対して自分がどのように感じたのかを伝えたら、解決方法を見つけていけるのではないかと思います。

課題を解決しながら『真剣』に取り組んだ中から『夢と希望』が見つかったら素敵ですね。そして、その『夢と希望』の実現を目指しながら過ごしたら、きっといろいろなところに『貢献』できるでしょう。生徒、教職員、保護者や地域の皆様など、桂台中学校に関わる全ての人々が気持ちよく過ごせるよう、思いやりの気持ちを大切に生活することも、常に心掛けたいものです。

桂台中では原則、毎月第二金曜日の13:30から校内見守り活動として、保護者や地域の皆様に学校・生徒の様子を見ていただく機会を作っています。今年度も多くの方のご協力をお願いします。